

【22_314技術系メルマガ】「トレール」に対する考え方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

日々のやり取りで多い質問のひとつは、やはりエントリー後の『決済』に関するものです。

これまで、利確が難しい理由(【167】通目参照)などの解説はしたことがありますが

ある方から頂いた「トレール決済」に関する僕なりの考えをまとめてみようと思います。

▼参考ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1589439299858337792?s=20&t=dhCS0Sth9aeyXWD2oi_j_w

「何のためのトレール」かを考えよう

トレール決済については、検索をすると国内証券などに分かり易い説明が沢山あるので、あまり細かい定義については触れませんが

簡単に言ってしまうと

レートの上下動に合わせてロスカット位置を『並行して動かす』ことで、損失を小さく抑える考え方です。

主に保有時間が長く、最初の損切幅が比較的大きいトレーダーがよく活用しているイメージがあります。

細かい運用方法は人によって違うと思いますが

常に「現状価格とロスカットとの幅が並行させて」おき、建値から含み益になればどんどん等距離で移動し続ける。

逆に建値より反対にはトレールしないでおけば、最低でも建値で撤退

あとはトレールした分だけ最低限の利益は確保される、という感じですね。

ですがこの考え、実際に『一方的なトレンドが続くこと』と『一定以上のボラがあること』の両者が成り立たないと成立しないので

僕のように、短期デイトレで利確も損切りも早いタイプのトレーダーには、あまり恩恵がありません。

また、僕のトレードは勝ち負けの手数を積み重ねて、トータル勝ちを狙うタイプのトレードをすることにより

「保有時間が長くなることによる、先のわからない不確実性」を減らすことを重要視しています。

そういう意味では、「トレール」という運用は、自分のエントリー方向にトレードが続くことを期待しなければ成立しないということになり

自分でコントロールできない『今後の値動き次第』に自分のリスクを預けないといけないわけですから

あまり僕の現状の考えにそぐわないやり方、ということになります。

ただ、概念自体は否定するものではなく、スイングトレードを主体としている人であれば

このやり方はリスク管理の一環として、理に適っていると思います。

要は、自分のとっているトレードスタイルとの相性で考えるべき事なので

概念の特徴を理解したうえで、自分にとってどうなのか？を考えることが大切です。

今回は「トレール」をテーマとして取り上げましたが、あらゆる手技に通じる事ですので

この話を一例として、各々考えてみてくださいね。